

場所	石岡市中央公民館 第1.2講座室	参加人数	62名	発表内容	<p>水戸市社協埜氏より双葉台地区の取り組みである地域見守り活動「ご近所安心ネット」、石岡市社協関町氏より地区の座談会、五霞町社協金谷氏より五霞町社協内で行われたボヌール会議報告会について、それぞれ報告が行われた。</p> <p>地域福祉アドバイザーの外岡 仁氏からは、ボヌール会議に3名参加している五霞町社協について「報告会を社協内で行うという事が大事なことで社協内の連携につながる」とのコメントを頂いた。</p> <p>地域福祉アドバイザー 長谷川 幸介氏からは、今回の5人の事例報告は「これらの報告は、社協の我が事です。」とのまとめがあった。</p>
参加社協	<p>【15社協】 水戸市 土浦市 古河市 石岡市 常陸太田市 北茨城市 鹿嶋市 常陸大宮市 那珂市 行方市 つくばみらい市 小美玉市 茨城町 五霞町 利根町</p>				
研究課題・テーマ	<p>(今回の発表事例が選ばれた経緯) 地域から寄せられる社協への期待と社協を取り巻く環境の把握・分析をもとに、地域福祉の推進に取り組む小美玉市社協と日光市社協における事例及び成果等を共有し、今後の地域共生社会の実現に向けたポイントを学ぶことを目的に選定した。</p>				
本年度のボヌール会議報告	<p>☆本年度のボヌール会議報告 報告者：五霞町社会福祉協議会 倉持 圭亮氏 ※ボヌール会議構成メンバーの倉持氏が、報告しました。 本年度のボヌール会議には五霞町社協から3名の職員がエントリーしています。今回の報告は、1年間のボヌール会議について、五霞町社協内で「ボヌール会議 in ごか」と題した報告会があり、その際、倉持氏が発表した内容をオープンミーティング用にアレンジしたものです。</p>				
発表内容	<p>☆地域共生社会の実現に向けた実践報告 「小美玉市社会福祉協議会における地域共生社会の実現に向けた取り組み等について」 実践報告者：小美玉市社会福祉協議会 地域福祉グループ長 大山 明弘氏 福祉員活動の紹介、各地の協議体での意見交換等、住民主体の活動の取り組みについて実践報告が行われた。 「つながらない。で、終わらない。」 実践報告者：日光市社会福祉協議会 地域福祉戦略室長 松本 昌宏氏 支所が「主体」となり、本所が「バックアップ」（事務局機構の再編、組織内部の連携システム、職員全員が相談窓口になるためのツールの開発）を行う、活動体制について報告が行われた。</p> <p>☆地域共生社会の実現に向けて（シンポジウム） 登壇者：水戸市社会福祉協議会 課長 埜 行弘氏 石岡市社会福祉協議会 主任 関町 美紀子氏 五霞町社会福祉協議会 次長補佐 金谷 真奈美氏 小美玉市社会福祉協議会 地域福祉グループ長 大山 明弘氏 日光市社会福祉協議会 地域福祉戦略室長 松本 昌宏氏 助言者：茨城県社会福祉協議会 地域福祉アドバイザー 外岡 仁氏 コーディネーター：茨城県社会福祉協議会 地域福祉アドバイザー 長谷川 幸介氏</p>			参加者からの声 (アンケートより)	<p>○ 社協のワゴン車を貸出、高齢者の方が買い物に行ける小美玉市のサービスがとても素晴らしいと思った。どこの高齢者の方も車は運転できるけど、買い物に行きたい、〇〇に行きたいのに技術が不安という方はたくさんいる。こういったサービスが増えていけばと思う。</p> <p>○日光市社協の総合相談を職員全員が対応できるよう、総合インテークシートを使い、組織で支援する仕組み・機能強化の改革は、とても参考になった。</p> <p>○地域共生社会の実現に向けた課題や行うべき活動は、所属部署に関わらず、部門を横断した連携体制が重要だと改めて気づくことが出来た。</p> <p>○地域共生社会の必要性・意味を再確認し、「我が事」・「丸ごと」を考えて、横のつながりを広げていきたい。</p> <p>○「社協内での連携」・「情報の共有」「担当者とそれ以外の温度差」など、自社協の中でも疑問や課題を感じる部分の話しを聞くことができよかったと思う。</p> <p>○各市町村にあった社協の在り方があり、その地域に合わせた進め方で地域共生社会の実現に向かっていく必要があるとわかった。</p> <p>○他社協の取り組みについて聞いて良かった。社協内の「情報共有」はとても大切であって、どこでも課題であると感じた。</p>